

『JVA 2015 年年間統計調査結果』について

当協会は、去る 3 月 11 日(金)午後 2 時から、協会会議室において『JVA 2015 年年間統計調査結果』についての記者発表会を開催しました。

以下に記者発表された報告の中から抜粋して 2015 年の統計調査結果についてご報告いたします。

なお、本調査の結果は『日本映像ソフト協会統計調査報告書 Vol.81』として冊子にまとめられ、一般の方にも有料にて頒布しております。

本件のお問い合わせにつきましては、広報課上田(03-3542-4433)まで、または、協会ホームページの「お問い合わせ」にアクセスしてください。

以 上

2015 年（1 月～12 月）の実績について

1. 2015 年のビデオソフトの総売上は 2181 億 1300 万円で前年比 94.9%となった。

ビデオソフトの総売上金額をメディア別に見てみると、ブルーレイが 938 億 8000 万円で前年比 101.9%と伸長したが、DVD ビデオが 1242 億 3300 万円で前年比 90.2%と割り込み、全体的に前年割れとなった。DVD ビデオとブルーレイの売上金額における構成比は 57 : 43 となり、ブルーレイの割合がさらに増した。(添付資料 表 1)

2. ビデオソフト全体の売上金額を流通チャネル別に見てみると、販売用が 1626 億 5000 万円で前年比 97.1%、レンタル店用は 542 億 6500 万円で同 88.2%となった。販売用、レンタル店用、業務用のそれぞれの割合は、74.6 : 24.9 : 0.5 となり、販売用の割合が 4 分の 3 程度を占めることとなった。(添付資料 表 4)

DVD ビデオの販売用、レンタル店用、業務用の割合は、58.7 : 40.6 : 0.8 となり前年とほぼ変わらなかったが、販売用が前年比 90.9%、レンタル店用が同 88.8%となり両方の市場とも前年を割り込むこととなった。一方、ブルーレイの販売用、レンタル店用、業務用の割合は、95.6 : 4.1 : 0.3 で、販売用の売上が圧倒的に高くなっている。前年比では販売用が 102.8%と伸長が継続しているが、レンタル店用が 81.1%となり、初めて前

年割れした。(添付資料 表 2、3)

3. 販売用全体 (DVD ビデオとブルーレイの合計) の売上金額における DVD ビデオとブルーレイの割合は 44.8 : 55.2 となり、ブルーレイの割合が過半を占めた。

販売用全体の売上金額をジャンル別に見てみると、前年比 123.0%と大きく伸長した『音楽 (邦楽)』が 32.2%を占め、初めて構成比 1 位となった。2008 年以降首位であった『日本のアニメーション (一般向け)』は前年比 93.1%と割り込み、構成比 30.2%で第 2 位となったが、構成比 3 位の『洋画 (TV ドラマを除く)』は前年比 107.8%と 5 年ぶりに上昇に転じた。しかし第 4 位となった『邦画 (TV ドラマを除く)』が同 83.0%と苦戦したほか、前年にビッグタイトルのリリースによって大きく伸長した『海外のアニメーション (一般向け)』も、同 34.8%と大きく減少するなど、その他のジャンルにおいては全体的に奮わなかった。

各ジャンルの売上金額におけるブルーレイの割合は、『日本のアニメーション (一般向け)』が 79.2%と高く (前年は 75.9%)、『洋画 (TV ドラマを除く)』が 64.1% (同 54.7%)、『邦画 (TV ドラマを除く)』が 45.0% (同 41.9%)、『音楽 (邦楽)』も 42.8% (同 36.9%) と高くなっている。各ジャンルとも DVD ビデオからブルーレイへシフトしている傾向が表れている。(添付資料 表 6)

4. DVD ビデオの販売用の売上金額は 728 億 7700 万円で前年比 90.9%となった。ジャンル別では、『音楽 (邦楽)』が前年比 111.6%と二桁の伸長となり、構成比も 41.1%を占め圧倒的なシェアとなったが、第 2 位 (構成比 14.0%) は『日本のアニメーション (一般向け)』だったが前年比は 80.3%、第 3 位 (構成比 9.1%) の『洋画 (TV ドラマを除く)』も同 85.5%となるなど、『音楽 (邦楽)』以外のほとんどのジャンルで前年を下回る事となった。(添付資料 表 6)

5. ブルーレイの販売用の売上金額は 897 億 7300 万円で前年比 102.8%となった。前年は『アナと雪の女王』のビックヒットがあったが、その売上をも上回る実績となった。

ジャンル別構成では、構成比 1 位は 43.3%を占める『日本のアニメーション (一般向け)』だが、前年比は 97.1%とわずかに割り込んだ。これに対し、構成比 2 位 (24.9%) となった『音楽 (邦楽)』は前年比 142.7%と大きな伸長となり、また 3 位 (13.2%) の『洋画 (TV ドラマを除く)』も 3 年ぶりに前年を上回り前年比 126.3%と大きく伸長した。前年は大きな売上となった『海外のアニメーション (一般向け)』は前年比 32.4%と大きくダウンしたが、『音楽 (邦楽)』と『洋画 (TV ドラマを除く)』の伸長がカバーし、全体的に前年を上回る実績となった。(添付資料 表 6)

6. レンタル店用全体 (DVD ビデオとブルーレイの合計) の売上金額における DVD ビデ

オとブルーレイの割合は 92.9 : 7.1 となり、DVD ビデオが主流を占めている。

DVD ビデオのレンタル店用の売上金額は 504 億 300 万円で前年比 88.8%、ブルーレイのレンタル店用は 38 億 6200 万円で前年比 81.1%となった。(添付資料 表 7)

7. DVD ビデオのレンタル店用の売上金額をジャンル別に見てみると、『洋画 (TV ドラマを除く)』が 3 年ぶりに構成比 1 位 (20.0%) となったが前年比は 99.3%と微減となった。第 2 位 (17.7%) となった『日本のアニメーション (一般向け)』は前年比 80.2%、3 位 (15.3%)の『邦画 (TV ドラマを除く)』も同 86.7%、4 位(14.5%)の『アジアの TV ドラマ』が同 98.1%、5 位(12.9%)の『海外の TV ドラマ』も同 79.7%となるなど、主だったジャンルすべてで前年を下回る事となった。一方、数量においては、構成比第 1 位は『アジアの TV ドラマ』で 27.1%を占め前年比 102.8%、2 位の『洋画 (TV ドラマを除く)』は 21.0%を占め同 102.9%と伸長している。第 3 位の『海外の TV ドラマ』以下のジャンルでは前年を割り込むジャンルが多かったが、全体的には前年比 99.7%とほぼ前年並みとなった。数量と金額の傾向の差は、レベニューシェアリング方式の採用に起因していると考えられる。(添付資料 表 7)

8. 売上金額を売上数量で割って単純に求めた 1 枚当たりの単価を見てみると、DVD ビデオの販売用の平均単価が 3,032 円で前年比 112.7%、ブルーレイの販売用も 4,933 円で同 107.0%となり、販売用は全体的に平均価格が上昇した。これに対しレンタル店用は DVD ビデオが 1,824 円で前年比 89.1%、ブルーレイが 1,883 円で同 83.7%となり、価格が下落した。(添付資料 表 5)

以 上

追記

<本統計調査報告についての注意点>

- 本報告は、JVA 会員社が発売、販売する自社作品および他社作品の出荷段階の売上をまとめた統計である。
- 返品分は金額、数量とも調査時点において差し引いている。
- DVD とブルーレイのコンボ作品はブルーレイにカウントしている。
- 「日本の子供向け(アニメーション)」などにある“子供向け”とは、目安として 9 歳以下の子供を対象とした作品のこと。